

読む力をはぐくむ子供読書活動の推進

～ブックスタートプラス、対象年齢別お話会で、保護者にもアプローチ～



三芳町立図書館（埼玉県三芳町） <http://www.lib.miyoshi.saitama.jp/>

基本データ（数値はH25年現在）

住所	入間郡三芳町藤久保185-1
電話番号	049-258-6464
人口（図書館が所在する市町村）	3万8千人（38,323人）
職員数（うち有資格者数）	22人（16人）
蔵書数	284,372冊
登録者数	51,691人
年間貸出冊数（H24）	527,108冊

目的・趣旨

- ・親に乳幼児期の読み聞かせの大切さを伝え、家庭での取り組みを継続的に推奨する。
- ・子供たちに本を読む楽しさを伝える機会を積極的に作り、読書意欲を喚起し、聞く力、読む力をはぐくむ。

取組概要

- 1.ブックスタート（4か月児健診時。対象の96%に実施）と、ブックスタートプラス（2歳児歯科健診時。対象の85%に実施）
 …親子1組ずつに図書館スタッフが絵本を読み、乳幼児期の読み聞かせの意義と親子で読みあう楽しさを伝え、絵本を1冊進呈。0歳児で読み聞かせを始めても、子供が活発化すると読み聞かせをやめる親が多いので、2歳児で再度働きかける。
- 2.対象年齢を細かく分けたおはなし会（読み聞かせとブックトーク。親子参加を推奨）
 …子供の集中力を考慮した本選びで、聞く力、読む力を育てる。家庭での読み聞かせや一人読みに向く本を紹介する。
 - ぐりぐらタイム（当日参加）
 - ・6か月～1歳（月2回）、・2～3歳（月2回）、・3～8歳（月2回）
 - としょかんくらぶ（会員制）
 - ・小学1.2年生（月1回） ・小学3～6年生（月1回）

特徴

乳幼児期に家庭で日常的に読み聞かせをしてもらっていた子供は、その多くが読書に親しむようになるといわれている。そこで、まず、親自身に読んでもらう楽しさを体験させ、わが子に読んであげたいと思わせるよう努めている。

- ブックスタートプラス
 詳しい相談は、図書館で常時受け付けていると親に伝える。担当職員とボランティアの研修を恒常的に実施。毎回反省会で子供や親への対応や読み方を検討する。
- ぐりぐらタイム
 その回を受け持つ児童担当職員が、プログラムを決めて実施し、ボランティアが協力。読み方の研修を随時行い、質の高い内容で子供と親に本の魅力を伝える。子供時代に出合わせたい基本的な絵本を中心に読む。
- としょかんくらぶ
 読み聞かせで本の世界を大いに楽しませてから、おすすめの本を読みたくなるように紹介する。借りたい本をジャンケンで競い合う。これが、子供に好評。親の参観を奨励し、親子読書につなげる。



取組の成果と今後について

ブックスタート（平成20年度～）、ブックスタートプラス（平成23年度～）開始以降、絵本の貸出冊数、おはなし会参加人数が増え、図書館が活気づいた。今の小学生は、塾や習い事で親にスケジュール管理されているので、親への働きかけで行事参加が確実に増えた。今後は、事業展開に必要な知識と技術をもつ児童担当司書を継続的に育成するとともに、ボランティアをさらに養成・活用し事業の充実を図る。